



高校生のための九州大学 医学部 生命科学科紹介

Department of Biomedical Science, Kyushu University School of Medicine

2024



「医学部において 生命科学を学ぶという選択」

九州大学医学部生命科学科長

新納 宏昭



九州大学医学部生命科学科は、平成19年に設立され、医学の素養を持った生命科学者の育成を目指しています。初期の卒業生たちは、大学院を修了し学位を取得した後、国内外の大学や研究所で研究職に就き、現在生命科学の最前線で活躍しています。

生命科学とは、広範な領域を対象とし、基礎的な内容から応用に近い内容まで多岐にわたります。現在では、理系のほぼ全学部に生命科学関連の学科が存在していると思います。では、医学部にある当学科の特徴は何でしょうか？それは、ヒトという細胞種に的を絞り、その正常な状態ならびに病的な状態について、多角的かつ系統的に学ぶという点にあります。当学科の学生は、将来医師になるための医学科学生と同じカリキュラムで、基礎医学としてのヒトの生命科学を徹底的に学びます。これにより、他の学部では修得が困難な「ヒトを個体として捉える独特のセンス」を育むことができます。また、当学科の大きな特徴として、早期から「最先端の生命科学の研究現場」を経験する機会が用意されています。この2つの教育方針のもとで、医学の素養と実践的な研究能力を兼ね備えた人材を育成し、基礎医学の進歩に貢献することが当学科の使命です。

基礎医学は、生命科学や疾患のメカニズムを解明することで、未来の医療の基盤を築く学問です。最先端の技術であるAI(人工知能)や遺伝子療法のような革新的な手法を取り入れることで、基礎医学はさらなる飛躍を遂げています。すなわち、基礎医学は将来的に何億人もの患者を救う可能性を秘めています。ただ、生命科学による本質的な発見は、医学的な応用や医療に限定されず、世界観を変える重要なインパクトを持つものです。興味と学修意欲を持った皆さんが、最先端の技術と生命科学を融合させるこの学問への入学を希望し、互いに刺激し合いながら未来を切り拓いていくことを願っています。

■ 白石晃明基礎医学研究基金奨学金の設立 ■

九州大学医学部では、故白石晃明先生（昭和24年度医学部卒業）のご遺族からの寄附により、医学研究院における未来に繋がる基礎医学の活性化に資するため、白石晃明基礎医学研究基金を設立しました。

そして、基礎医学研究を志す学生の修学と研究活動を支援するため、令和6年度入学者より、成績優秀者に対して白石晃明基礎医学研究基金奨学金を支給いたします。

●給付額 550,000円/年額（授業料相当額） ●給付人数 6名以内

●給付期間 最大4年間（継続申請必要）

※その他、受給要件・選考方法・募集期間等の詳細については、ホームページ等でご案内いたします。

生命科学科に興味がある方は、下記のURLに示しますウェブサイトをご覧ください。

生命科学科ホームページ

<https://www.biomed.med.kyushu-u.ac.jp/>



受験生向けサイト

<https://www.biomed.med.kyushu-u.ac.jp/juken/>



沿革／History —おもな年表—

明治 36 年 4 月 1 日	京都帝国大学福岡医科大学開設
〃 44 年 4 月 1 日	京都帝国大学福岡医科大学が九州帝国大学医科大学となる
大正 8 年 4 月 1 日	九州帝国大学医科大学は九州帝国大学医学部となる
昭和 3 年 10 月 24 日	創立 25 周年記念祝典挙行
〃 22 年 10 月 1 日	九州帝国大学医学部は九州大学医学部となる
〃 28 年 5 月 3 日	医学部創立 50 周年記念式典挙行
〃 30 年 4 月 1 日	九州大学大学院医学研究科設置
〃 48 年 11 月 24 日	創立 70 周年記念式典挙行
〃 53 年 11 月 25 日	創立 75 周年記念式典挙行
〃 58 年 11 月 5 日	創立 80 周年記念式典挙行
〃 61 年 4 月 1 日	医学研究科を医学系研究科に拡充改組、分子医学系専攻博士課程及び分子生命科学系専攻博士課程（後期3年の課程のみの博士課程）増設
平成 12 年 4 月 1 日	医学系研究科を廃止し、医学系学府（大学院教育組織）及び医学研究院（大学院研究組織）を設置
〃 15 年 3 月 8 日	創立 100 周年記念式典挙行
〃 15 年 4 月 1 日	医学研究院の8部門を基礎医学部門、先端医療医学部門、臨床医学部門、分子生命科学系部門及び医学教育学部門の5部門に、23 講座を 11 講座に再編 大学院医学系学府に医科学専攻（修士課程）が設置された 医学研究院附属統合教育研究実習センターを廃止し、全学共同教育研究施設として医療系統合教育研究センターを設置 大学院システム生命科学府の設置に伴い、大学院医学系学府分子生命科学系専攻は、同専攻学生が在学する間存続することとなった 学校教育法の改正により、大学院医学系学府医療経営・管理学専攻修士課程（専門大学院）は、同（専門職大学院）となる
〃 16 年 4 月 1 日	九州大学は国立大学法人九州大学が設置する大学となった
〃 19 年 4 月 1 日	医学部に生命科学科を設置 大学院医学系学府に保健学専攻（修士課程）を設置
〃 20 年 4 月 1 日	大学院医学系学府博士課程を1専攻に再編
〃 21 年 4 月 1 日	大学院医学系学府に保健学専攻（博士後期課程）を設置
〃 24 年 4 月 1 日	医学研究院に応用幹細胞医科学部門設置 同部門に応用幹細胞医科学講座設置

医学部生命科学科案内

医学部生命科学科では、ヒトならびに様々なモデル動物を対象とした次世代の生命医科学研究と医学教育を担う人材を育成し、世界に向けて輩出することを目標としています。そのために、本学科では多様な生命活動とその分子メカニズムに興味を持ち、未知の領域を探求する旺盛な好奇心と柔軟な思考力をもつ学生を歓迎します。同時に、国際的に活躍するには高い語学力が求められます。研究のみならず語学力の向上に向け、意欲的に取り組む学生を歓迎します。

教育理念（教育理念・目標、育成する人材等）

医学部生命科学科に入学した学生は、最初に生物学と医学の幅広い基礎的知識を修得することが求められます。その後、生命医科学の最新の知識の修得を可能とするプログラムが準備されています。このような教育プログラムによって「幅広い知識と高度な専門的能力を備えた人材」、「課題発掘ならびに問題解決能力を備えた人材」、「生命医科学の研究分野でリーダーシップを発揮できる人材」、「国際的視野に立ち基礎医学教育を担う人材」を育成したいと考えています。

教育指導体制

生命科学科ならびに医学科教員が本学科の教育プログラム全般を担当します。また、必要に応じて校内の他部局の教員や他大学の教員が本学科の教育に参加します。各学年には担任を置き、個々の学生からの相談に対応します。

教育プログラムの特色・内容

生命科学科では、1、2年次において生物学や医学の基礎知識を修得するとともに、種々の実習科目において基本的な実験操作を修得します。さらに、高年次においては分子細胞生物学、高次機能制御学、生体情報科学、臨床医学等の講義（下記のキーワードを参照のこと）を通じ、最新の研究に関する知識を修得します。また、3年次に設けられた研究室配属ならびに4年次に取組む生命科学特別研究では、希望する研究室に配属され、教員の個別指導のもとに研究を行います。生命科学特別研究では、学生一人ひとりにテーマを設定し、取組んだ成果をまとめて卒業論文を作成しますが、この過程で研究を行う上で必要な基礎的能力を身につけることができます。

国際的に活躍する人材を養成するためには、高い英語力が不可欠です。そこで、英語教育を重視したカリキュラムを準備しています。英語論文の読解だけでなく、コミュニケーション能力の修得に向け、指導を行います。

1. 分子細胞生物学：

生化学、細胞生物学、ゲノム医科学、構造生物学、微生物学

2. 高次機能制御学：

免疫学、分子薬理学、脳・神経機能学、分子病理学、予防医学、分子疫学、発生再生医学、遺伝子・細胞療法学

3. 生体情報科学：

情報生物学、遺伝情報解析学

4. 臨床医学：

脳神経・運動器概論、循環器概論、呼吸器・造血器概論、腎・泌尿生殖器概論、周産期・成長発達医学概論、アレルギー・膠原病・感染症概論、消化器概論、心身医学・精神医学概論、内分泌・代謝・老化概論、感覚器・皮膚概論

求める学生像

生命科学科では以下の学生を求める。

ヒトを含む様々な生物の生命現象に興味を持ち、生命医科学関連領域の勉学と研究に情熱をもって臨む志の高い学生を求める。本学科では将来の生命医科学研究と医学教育を担う多数の人材を輩出するため、基礎的講義を土台に最先端の生命医科学研究を行うまでの教育プログラムを準備している。このような講義ならびに研究内容を理解するには、高校において理系科目(数学、理科(生物、化学、物理))の履修を通じ、自然科学の基礎知識を習得するとともに、文系科目(国語、英語、社会)も幅広く履修することが望まれる。また、論理的な思考に基づいて、口頭および文章で論理的な説明を行う能力を備えていることが望まれる。

求める学生像と学力3要素との関係

①知識・技能:

高等学校などにおける基礎的教科・科目の履修を通して獲得される知識・技能。加えて、生命医科学研究における知識・技能の習得ができる基礎的な能力。

②思考力・判断力・表現力などの能力:

論理的・多面的に考え、客観的に批判し、自分の言葉で人に伝える資質。

生命医科学に関する知識を習得し、研究に応用するための努力を惜しまない姿勢。

③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度:

ヒトおよびヒトに関係する生物が示す生命現象への興味、基礎医学研究への興味、多様性を尊重する態度、異なる考えに共感する姿勢。周囲と協調して生命医科学研究を創造・発展しようとする意欲。

入学者選抜方法

	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力などの能力	③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜 (前期)	大学入学共通テスト 個別学力検査	個別学力検査 個別面接	調査書 個別面接

教育の目的

医学部医学科は、医学に関する知識・技術の教育を通して、医の倫理に徹し、旺盛な探究心を有する医師および医科学研究者医学部生命科学科は、医学の素養を備えた生命科学者として将来の基礎医学研究を担う人材の育成を目的とし、本学科所定の課程を修め、下記の学修目標を達成した者に、学士(生命医学)を授与する。

参照基準

平成28年度医学教育モデル・コア・カリキュラム 国際認証評価基準

- http://www.mext.go.jp/component/b_menu/shingi/toushin/icsFiles/afieldfile/2017/06/28/1383961_01.pdf
- <https://www.jacme.or.jp/>

学修目標

A. 主体的な学び

A-1. 主体的な学び

- 深い専門的知識と豊かな教養を背景とし、自ら問題を見出し、創造的・批判的に吟味・検討することができる。

A-2. 協働

- 多様な知の交流を行い、他者と協働し問題解決にあたることができる。

B. 知識・理解

- 生体の構造と機能の基本原則を分子レベルから個体レベルに亘って理解し、説明できる。
- 様々な疾病を恒常性維持の仕組みの破綻と関連づけて理解し、説明できる。
- 個体の反応と病因・病態について理解し、説明できる。
- 生命現象や疾患の解明に必要な研究について理解し、説明できる。

C. 能力

C-1. 適用・分析(知識・理解の応用)

- 英語をはじめ母国語以外の言語で生命科学を理解し、自らの考えを表現できる。
- 生命の構造と機能の理解に基づき、生命現象を解析し、その結果を解釈できる。
- 個体の反応と病因・病態を解析し、その結果を解釈することができる。
- 生命医科学分野の研究課題を設定し、解決のために実験等を計画し、実行できる。
- 生命医科学領域の研究に必要な機器やソフトウェアを正しく操作できる。

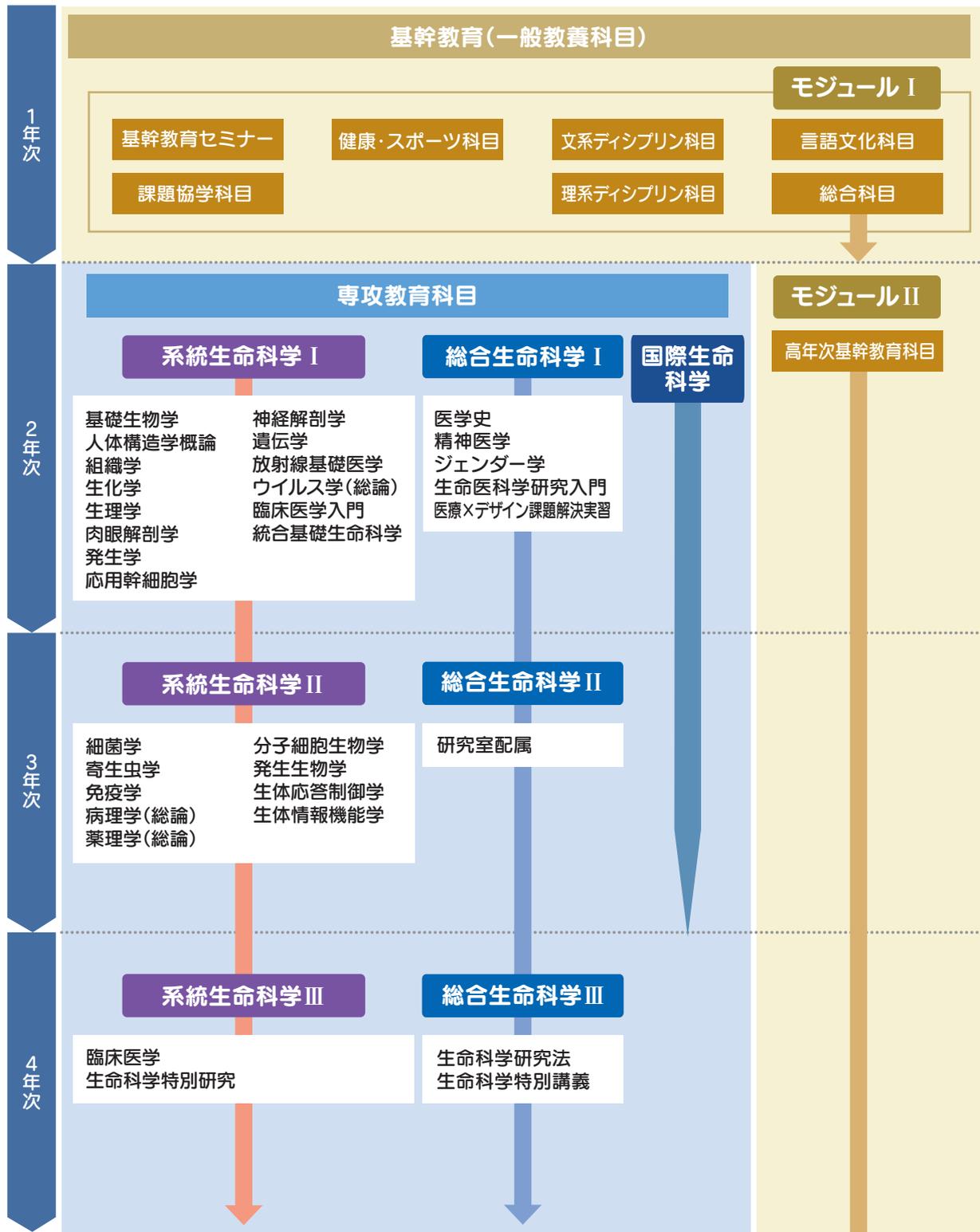
C-2. 評価・創造(新しい知見の創造)

- 生命医科学分野の論文やプレゼンテーションを理解し、批判的な考察や討論を通して新しい問題の設定ができる。

D. 実践

- 研究を通して生命医科学分野の発展に貢献しようとする意欲を持つことができる。
- 自らが持つ知識と生命医科学分野に関する知識と技術を広く社会に還元しようとすることができる。
- 生命医科学研究の発展に寄与するために、絶えず自らを省察し、周囲と協調しながら生涯にわたって学び続けることができる。

カリキュラム



※ユニット名は変更になることがあります。

学 生 / Students

(1) 学生定員及び在籍学生数 Enrollment Limit and Present Number

医学部

School of Medicine

(令和6年5月1日現在)

As of May 1st, 2024

	定員及び在籍学生数 Classification	1年 1st year	2年 2nd year	3年 3rd year	4年 4th year	5年 5th year	6年 6th year	合計 Total
医学科 Department of Medicine	定員 Enrollment Limit	105	105	110	110	110	111	651
	在籍学生数 Present Number	113 (30)	121 (29)	114 (34)	123 (27)	116 (20)	103 (24)	690 (164)
生命科学科 Department of Biomedical Science	定員 Enrollment Limit	12	12	12	12			48
	在籍学生数 Present Number	16 (8)	20 (10)	7 (2)	17 (7)			60 (27)
保健学科 Department of Health Sciences	定員 Enrollment Limit	134	134	134	134			536
	在籍学生数 Present Number	145 (117)	149 (116)	132 (109)	127 (105)			553 (447)
合計 Total	定員 Enrollment Limit	251	251	256	256	110	111	1,241
	在籍学生数 Present Number	274	290	253	267	116	103	1,303

Figures in parentheses indicate the number of female students.

* ()内は女子で内数を示す。

大学院(修士課程)

Graduate School(Master's Course)

(令和6年5月1日現在)

As of May 1st, 2024

専攻名 Course	定員及び在籍学生数 Classification	1年 1st year	2年 2nd year	合計 Total
医科学専攻 Master Course in Graduate School of Medical Sciences	定員 Enrollment Limit	20	20	40
	在籍学生数 Present Number	16	18	34
保健学専攻 Master Course in Graduate School of Medical Sciences, Department of Health Sciences	定員 Enrollment Limit	27	27	54
	在籍学生数 Present Number	29	28	57
合計 Total	定員 Enrollment Limit	47	47	94
	在籍学生数 Present Number	45	46	91

大学院(専門職学位課程)

Graduate School(Master's Course)

(令和6年5月1日現在)

As of May 1st, 2024

専攻名 Course	定員及び在籍学生数 Classification	1年 1st year	2年 2nd year	合計 Total
医療経営・管理学専攻 Health Care Administration and Management	定員 Enrollment Limit	20	20	40
	在籍学生数 Present Number	24	24	48
合計 Total	定員 Enrollment Limit	20	20	40
	在籍学生数 Present Number	24	24	48

大学院(博士課程)
Graduate School(Doctor's Course)

(令和6年5月1日現在)
As of May 1st, 2024

専攻名 Course	定員及び在籍学生数 Classification	1年 1st year	2年 2nd year	3年 3rd year	4年 4th year	合計 Total
医学専攻 Department of Medical Sciences	定員 Enrollment Limit	107	107	107	107	428
	在籍学生数 Present Number	119	107	111	137	474
保健学専攻 Doctor Course in Graduate School of Health Sciences	定員 Enrollment Limit	10	10	10	—	30
	在籍学生数 Present Number	8	10	17	—	35
合計 Total	定員 Enrollment Limit	117	117	117	107	458
	在籍学生数 Present Number	127	117	128	137	509

* 保健学専攻は博士後期課程

(2) 学部卒業生数 Number of Graduates

(令和6年5月1日現在)
As of May 1st, 2024

		令和 3年度 2021	令和 4年度 2022	令和 5年度 2023	平成3年7月1日 以降の卒業生数 (累計) Total (1991.7.1~2024.3.31)
医学科 Department of Medicine		112	109	120	3,470
生命科学科 Department of Biomedical Science		12	12	10	170
保健学科 Department of Health Sciences	看護学専攻 Nursing Course	70	73	65	1,264
	放射線技術科学専攻 Radiological Sciences Course	33	35	33	620
	検査技術科学専攻 Medical Technology Course	37	31	34	629
	小計 Total	140	139	132	2,513
計 Total		264	260	262	6,153

* 医学部保健学科は、平成14年10月に九州大学医療技術短期大学部を改組して設置。第1回卒業生は平成19年3月。
Department of Health Sciences was founded in Oct. 2002. The first graduating class was in March, 2007

医学部(医学士)卒業生 学部(旧制)累計 ————— 4,766名
School of Medicine(Old system)
学部(新制 昭和24年以降入学~平成3年6月30日卒業)累計 3,858名
School of Medicine(New system 1949~1991.6.30)
医学専門部累計 ————— 838名
Medical College

令和7年度入学者選抜の基本方針(入学要件、選抜方式、配点等)

入学定員:12名 一般入試(前期日程12名)

(1) 大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点

前期日程

	国語	地理・歴史	公民	数学	理科	外国語	情報	面接	計
大学入学共通テスト	100	50		100	100	100	25	—	475
個別学力検査	—	—		250	250	200	—	100	800
計	100	50		350	350	300	25	100	1,275

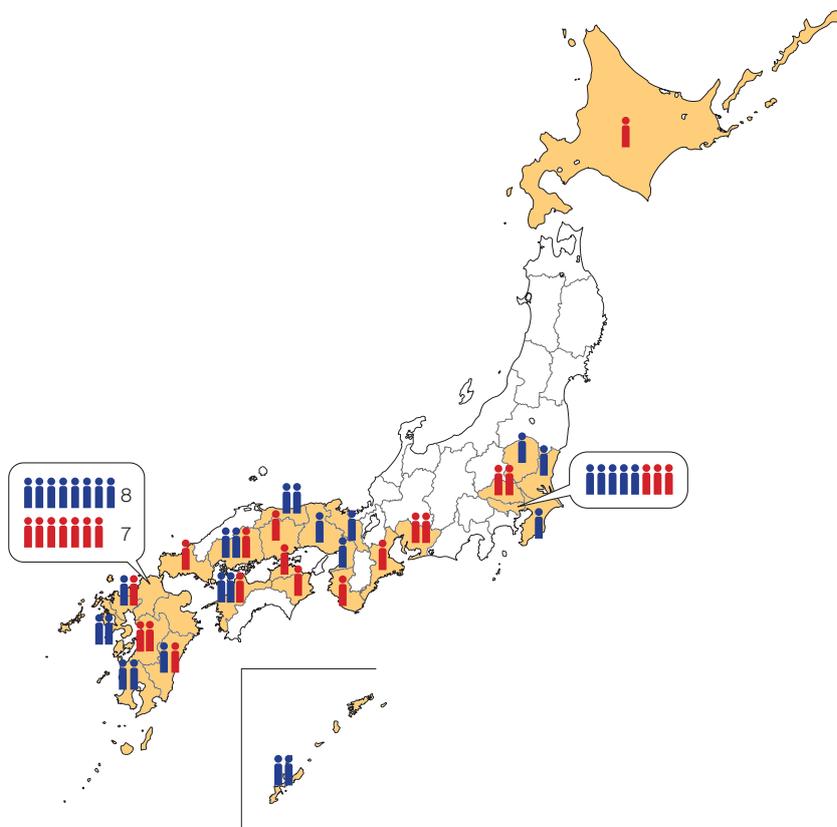
(2) 個別学力検査実施教科・科目等

前期日程

	数学	理科	外国語	面接
科目	数学 I 数学 II 数学 III 数学 A 数学 B 数学 C 6科目	物理基礎・物理 化学基礎・化学 生物基礎・生物 2科目選択	英語 英語コミュニケーションI,II,III 論理・表現I,II,III 1科目	
配点	250(150分)	250(150分)	200(120分)	100

出身高校所在地別 在学生の分布

生命科学科在学生の出身地は、下図に示すように小さいながらも日本中から学生が集まる学科です。全国各地から集まった仲間達と共に学ぶ中で、人間性をより豊かなものにする新しい出会いが待っています。

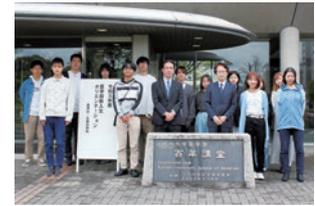
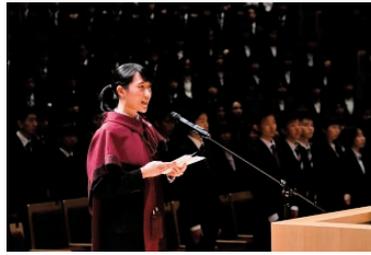


		1年生		2年生		3年生		4年生		計	
		男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性		
北海道	北海道				1					1	
関東	茨城県							1		1	
	栃木県	1								1	
	埼玉県		1		1					2	
	千葉県	1								1	
	東京都	1	2	1	1	2		1		8	
中部	愛知県		1		1					2	
近畿	三重県				1					1	
	京都府							1		1	
	大阪府			1						1	
	兵庫県	1								1	
	和歌山県								1	1	
中国	鳥取県	1						1		2	
	岡山県		1							1	
	広島県			1				1	1	3	
	山口県								1	1	
四国	徳島県		1							1	
	香川県								1	1	
	愛媛県	1			1	1				3	
九州	福岡県	1	1	3	3	1	1	3	2	15	
	佐賀県				1			1		2	
	長崎県			2						2	
	熊本県		1						1	2	
	宮崎県						1	1		2	
	鹿児島県	1				1				2	
	沖縄県			2						2	
計			8	8	10	10	5	2	10	7	60

キャンパスカレンダー

4月

入学式
新入生オリエンテーション



新入生オリエンテーション

入学式

5月

教職員との懇親会

6月

前期研究室配属（3年）

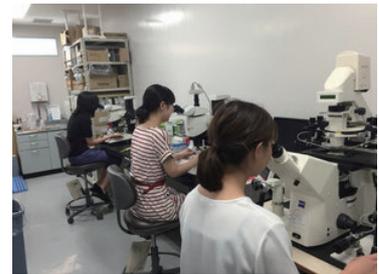


教職員との懇親会

7月

8月

夏期休暇
オープンキャンパス



研究室配属

9月

10月

国際生命科学Ⅱ：
英語によるポスター発表（3年）
後期研究室配属（3年）



国際生命科学Ⅱ：英語によるポスター発表

11月

九大祭



九大祭

12月

1月

2月

卒業研究発表会（4年）



卒業研究発表会

3月

卒業式（4年）



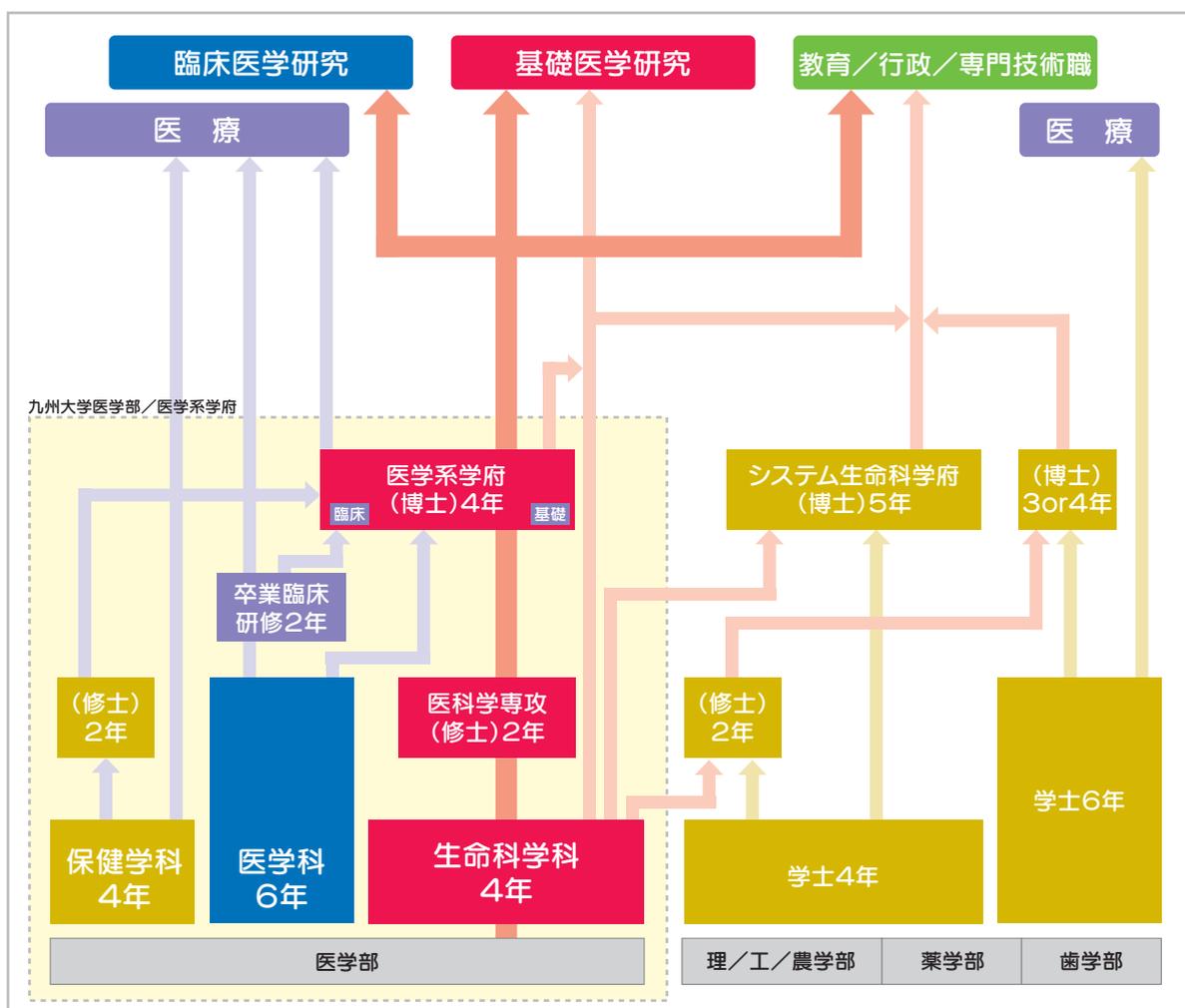
卒業式

卒業生の進路

生命科学科の卒業生の多くは、本学科で経験した研究室での研究を発展するべく、大学院修士課程に進学しています。

進路	令和2年3月	令和3年3月	令和4年3月	令和5年3月	令和6年3月
九州大学大学院医学系学府	4	7	8	9	9
九州大学大学院システム生命科学府	1	3	1		
他大学大学院	3	4	2	3	1
その他（就職等）	1	2	1		

進路の系統図





3年 日吉 恵都

生命科学科3年、15期生の日吉恵都です。

突然ではありますが、今皆さんはなぜこの生命科学科のパンフレットを見ているのでしょうか？医学研究者を目指しているから？将来のもう一つの道の候補として？私の生命科学科との出会いはあまりにも突然でした。元々児童精神科医になりたかった私は医学科を志望しており、高校2年生の時は医学科しか目指していませんでした。ですがオープンキャンパスの際に、母が折角行くならこの学科も見てみようと言ったのが生命科学科でした。どうして医者になりたいのに見なきゃいけないんだなんて思っていました、最終的にはここに来ているのです。それは「臨床医になりたくない」、「部活でしてきた研究が楽しい」、「そして「精神疾患に関わる仕事をしたい」という思いが合わさったからです。私の周りには医師を目指す人が多く、進路変更には勇気がいりました。ましてや定員は12人。人生を賭けた受験なのにもっと狭き門を通ろうとする勇気はなかなか出ませんでした。ですが、3年生から研究が行え、医学科の学生と同じ授業を受けられるというアドバンテージに惹かれ、最終的に強い意志を持ってここを志望しました。

待っていた学生生活は毎日が刺激と発見の連続です。何より私がここに来られてよかったと思えた理由は最高の仲間と出会えたことです。私が医師を目指さなくなった理由の一つに「人間関係の難しさを知ったこと」があります。同じ学科の人だけでも仲良くなればと思いましたが、それでも新しい人間関係には不安ばかりでした。ですが、私の周りには最高の仲間がいつも私を頑張ろう！と奮い立たせてくれ、不安で押しつぶされそうな時はそっと手を差し伸べてくれ、同じペースで歩いてくれます。何より同じ研究者という夢を持つ友人の存在は、ここに来なければ出会えませんでした。授業も、ご飯も、放課後の何気ない時間も、常に一緒にいる仲間の存在は、忙しい毎日を送る中で欠かせないものです。

最後に、私は今「精神病態医学研究室」に配属されています。うつ病をテーマに、細胞実験を行ったり培養したり、高校までではできなかった体験をさせて頂いています。後期には英語での発表があり、新しいことを吸収していく毎日です。大変なこともあり思い描いていたような学生生活とはいかないかもしれませんが、それでも今私が抱く夢に向かう一本道を、この生命科学科でまっすぐに突き進んでいます。迷っているそこのあなた！18期生として会えること、楽しみにしています。



3年 佐野 優衣

生命科学科3年の佐野優衣です。

今回、高校生の皆さんに向けてメッセージを書く機会を頂いたので、私が生命科学科を目指した理由と、生命科学科の良い点について説明していこうと思います。

私は小さいころから植物や動物が好きで、小学校の頃はグラウンドで遊ぶことよりも花壇にいる蝶の卵やダンゴムシ、メダカの観察をすることの方が楽しいという、少し変わった子供でした。高校生になって、オワンクラゲからGFPの抽出に成功した下村脩先生の業績を知り、生物が医学の発展に貢献できることを知り、基礎医学研究者を志すきっかけとなりました。また、iPS細胞などの画期的な多能性幹細胞が開発され、再生医療に強く興味を抱くとともに、医学を学びたいと思うようになりました。

研究者になるならどの大学のどの学部でもなれますが、九州大学の生命科学科は医学部であり、医学科と一緒に授業を受けることができること、3年の前期から研究室配属があり、早くから研究に触れることができること、研究者を目指す人の教育に特化しているということなどが決め手となり、生命科学科を志望しました。

生命科学科は募集人数が12人と、とても人数の少ない学科なので同期とすぐに仲良くなれます。また、上級生や下級生との繋がりが強いところが特徴的です。真面目で優秀な同期に負けるまい、と日々努力し、お互いに切磋琢磨できる仲間ができたことは、一生の宝であると感じています。

高校生のおみなさんに伝えたいことは、一生懸命頑張っていれば、その努力は誰かがみてくれる、ということです。高校で頑張れば、周りの友達、先生方はあなたの努力を見てくれます。大学で頑張っていれば、同期や教授がそれを見てくれています。さすが、生命科学科の子は、と一目置いてくれるはずですよ。

個人的に、生命科学科は研究者としてアカデミックに残る人向けの学科なのかな、と思っています。しかし、だからといって、生命科学科に入ったらそうしなければならないというわけではありません。実際に就職する人もいますけれど、それは本人が決めたことなので悪いことではないです。自分の興味のあることを学び、突き進んでいく。そして、それを楽しむ。それこそが、一番大切なことだと思います。

基礎医学研究がしたい、という熱い気持ちをもっている皆さんと会えるのを楽しみにしています。最後まで読んでくださり、ありがとうございました。



3年 東谷 航平

生命科学科ってどんなとこやねん。

どうもこんにちは。生命科学科3年生の東谷航平と申します。今回はこの私が受験生の皆さんに生命科学科のことを紹介するので参考にしてくださいね。

全体像はこちら☆

生命科学科tip情報

- ①医学科と一緒に授業を受けます!(授業内容は医学部医学科と同様です)
- ②なかなかクセ強達が集まる(九州人多い)
- ③各研究室に配属は、3年の6月から!
- ④経歴のすごい教授が多い!

ざっとこんな感じですね。

①に驚きましたか?私も入学する前は定員12人で授業が成り立つのか?とっていました。でも実際は医学科と机を並べてという感じですね。1年生は(医学科+生命科学科)÷2で2クラスに分けて授業、2年生以降は全員で授業という感じですよ。

一応、周りの同級生が口をそろえて②だと言っているのを書いてきます。私の推測では、これはももとのクセというよりは仲間内で打ち解けすぎて本性が出てしまうということなんじゃないですかね?超少数学科なので、親密さは他の学科に負けません!

じゃあ研究はどんな感じで始まるの? 基本的なカリキュラムでは3年生の6月から研究室配属が始まっていきます。しかし、自発的に研究室を訪れることによってそれよりも早く研究をすることができます。これは自分の研究室訪問次第ですね。「自分の研究したい内容がわからない…」そんなあなたへ。入ってから決めるのもありなのです。

あと、医学部を担当する教授は九大医学部医学科を卒業した教授が多いイメージがありますね。それ以外の人も名立たる旧帝大卒の経歴や、海外の有名大学の大学院で研究経験があるという経歴の教授もいらっしゃいます。本当にすごいです。こういった方に教えていただけるのは本当に恵まれているなと感じていますね。

どうでしたか?魅力的に感じることはありましたか?ま、気になったらオープンキャンパスにいらしてください!百聞は一見に如かず。今年(2023年)のオープンキャンパスに私もいるので、是非是非。私も当日いるので声をかけてくれてOKです!私であると判定できる条件→身長179cmです。

最後になりますけど、医学部の中にある生命科学科だってことですね。私が感じる魅力は、医学を医学部で学んでちゃんと土台を作る、そして研究する。そのような学部はそうはありませんし、これは希少価値があります。環境は素晴らしいので自分の興味と照らして検討してみてください。ということで、生命科学科の紹介でした!

建物配置図 CAMPUS MAP



⑱ ナイチンゲール誓詞の碑



⑩ 郭沫若先生顕彰碑



⑦ 釜掛の松



⑧ 長塚節逝去の地



⑪ ヒポクラテスの木



⑨ 九大生協食堂



⑫ 医学図書館



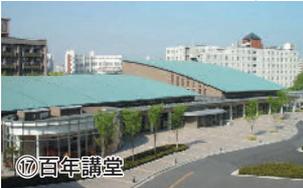
⑬ 医学部正門



⑭ 医学部75周年記念庭園



⑮ 神の手



⑰ 百年講堂

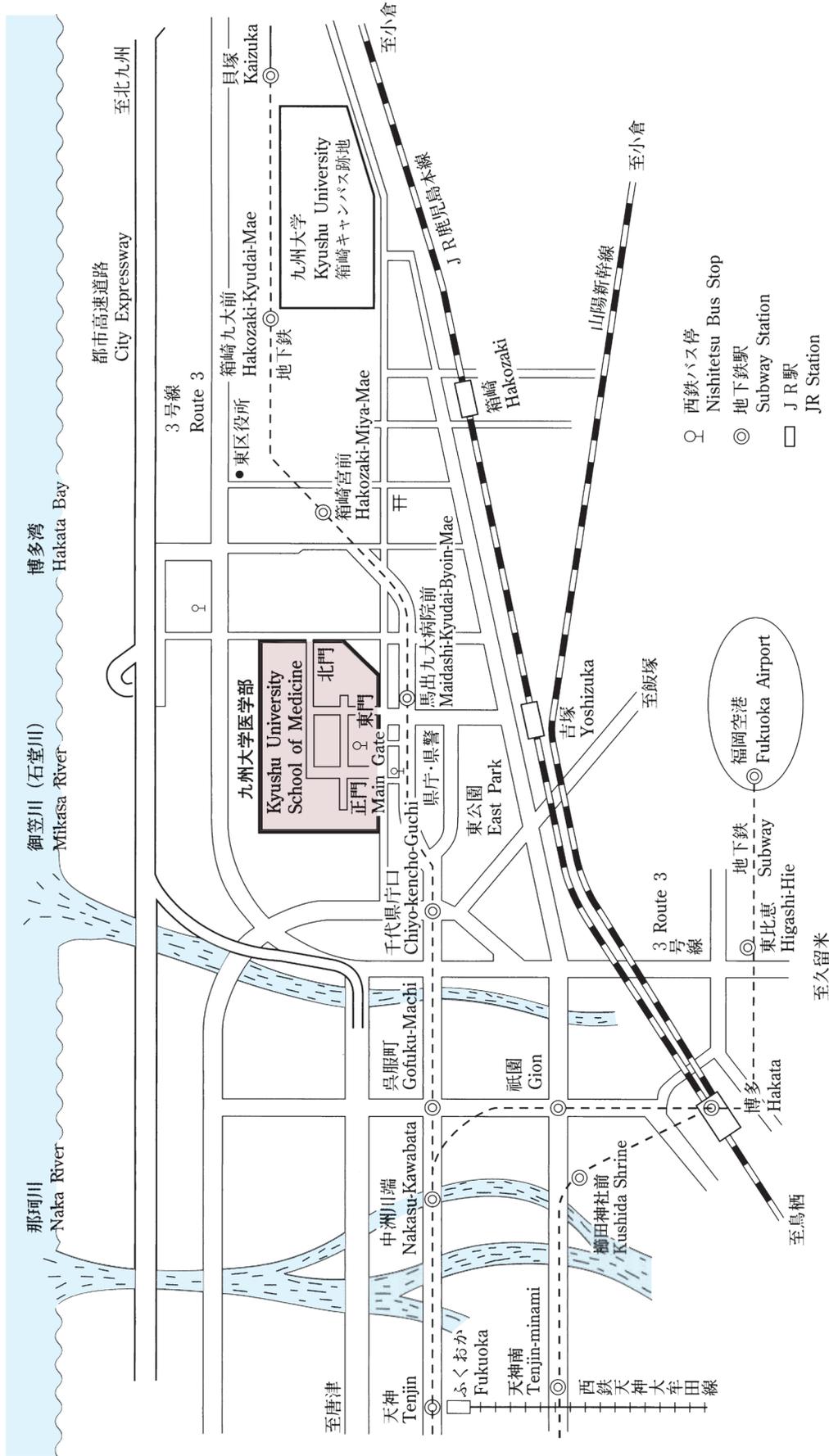


⑯ 慰霊塔「崇高な精神」

所在地略図 AREA MAP

医学部医学科、生命科学科

〒812-8582 福岡市東区馬出3丁目1番1号 ☎092-642-6020 FAX. 092-642-6189
 3-1-1 Maidashi, Higashi-ku, Fukuoka City 812-8582 <http://www.med.kyushu-u.ac.jp/>



○ 博多駅から地下鉄（中洲川端駅で乗り替え）で約10分

Subway service from Hakata Station to Maidashi-Kyudai-Byoin-Mae is a 10 minute ride, but, necessary to change trains at Nakasu-Kawabata on the way

○ 博多駅から西鉄バス（系統番号10番九大前又は吉塚営業所行き）で約15分

Nishitetsu bus service, No.10 Kyudai-Mae' or Yoshizuka-Eigyosho-Yuki', from Hakata Station to Kencho-Kyudai-Mae is a 15 minute ride

○ 福岡空港からタクシーで約20分

20 minute taxi ride from Fukuoka Airport

○ 福岡インターチェンジから約20分

20 minute car ride from Fukuoka Interchange



Kyushu University
School of Medicine
Department of Biomedical Science

九州大学医学部生命科学科ホームページ

<https://www.biomed.med.kyushu-u.ac.jp/>



受験生向けサイト

<https://www.biomed.med.kyushu-u.ac.jp/juken/>

